

情報教育システムの BYOD（持込みパソコン）の利用について

－ Windows 専用ソフトウェアによる接続 －

サイバーメディアセンター情報教育システムでは、情報教育教室に設置しているパソコン（以下、情報教育端末）の仮想デスクトップを使用できます。自分の Windows や MAC のパソコンから仮想デスクトップに接続して授業を受けたり、情報教育端末のソフトウェアを利用できますので、自学自習にご利用ください。

自分のパソコンから情報教育教室の仮想デスクトップに接続するには次の 2 種類の方法があります。

- A. 専用ソフトウェアで接続する（Windows のみ）
- B. Web ブラウザで接続する（Windows・Mac 両方可）

このマニュアルでは、「**A. 専用ソフトウェアで接続する**」手順を説明します。なお、本ソフトウェアは **Windows でのみ利用可能**です。Mac をご利用の方、またはブラウザベースで接続を希望される方は「B. Web ブラウザで接続する」マニュアルを参照ください。

1. VMWare Horizon View Client をインストールする

仮想デスクトップ環境を利用するためには、(1) 仮想化基盤ソフトウェア「VMWare Horizon View Client」と (2) VMWare の仮想化技術を用いた仮想マシンの予約運用システム「キャンパスクラウド TC Agent」の 2 つのソフトウェアをインストールする必要があります。

はじめに、(1) 「VMWare Horizon View Client」をインストールしましょう。

- ① ブラウザで <https://campuscloud.ecs.cmc.osaka-u.ac.jp/ccuser/userLogin.do> にアクセスする。
- ② 大阪大学個人 ID とパスワードを入力しログインする。

大阪大学 情報教育システム	
利用者ID	パスワード
ログイン	
お知らせ情報 (1~1 / 1 件中)	
パスワードについて	タイトル

- ③ 画面の下にある「Windows 版 View Client」をクリックする。



- ④ VMware Horizon Client のダウンロード画面になるので、「今すぐダウンロード」をクリックする。
※ バージョン 2103 をご利用ください。（最新版の 2106 では動作しません。）



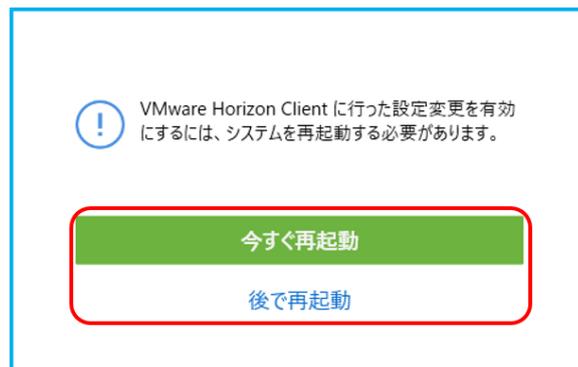
- ⑤ ダウンロードした VMware Horizon Client をパソコンに保存する。
- ⑥ ダウンロードした VMware Horizon View Client をダブルクリックしてインストールを開始する。
※ なお、インストールは管理者権限のあるユーザで行ってください（管理者権限のユーザでログオンするか、ファイルを起動するときに管理者で実行してください）。
- ⑦ インストールウィザードが立ち上がるので「同意してインストール」をクリックする。クリックするとインストール中の画面に移行するので、しばらく待つ。



- ⑧ インストールが完了すると下図のような画面になるので [終了] をクリックする。



- ⑨ 再起動を求める画面になるので、問題なければ [今すぐ再起動] をクリックする。都合が悪い場合は、[後で再起動] をクリックする。パソコンを再起動すると設定変更が有効になりインストールが完了する。



2. 専用ソフトウェア（キャンパスクラウドエージェント TCAgent）のインストール

次に、(2)仮想マシンの予約運用システム「キャンパスクラウド TC Agent」をインストールしましょう。

- ① Web ブラウザで大阪大学 CLE 「<https://www.cle.osaka-u.ac.jp>」にログインする。
※ **Web ブラウザには、必ず Chrome が Firefox を使用してください**
- ② 新しいタブを開き、「http://www.cmc.osaka-u.ac.jp/edu/ecs_download.html」にアクセスする。
※ ①と②は同じブラウザで表示してください
- ③ 初めてアクセスすると、『エラー』が表示されるので、左側メニューの「登録」をクリックする。



- ④ 『自己登録』の画面が表示されたら、画面右下の「送信」をクリックする。



- ⑤ 『アクションが完了しました：成功』が表示されたら、画面を下にスクロールし、画面右下隅の「OK」をクリックする。



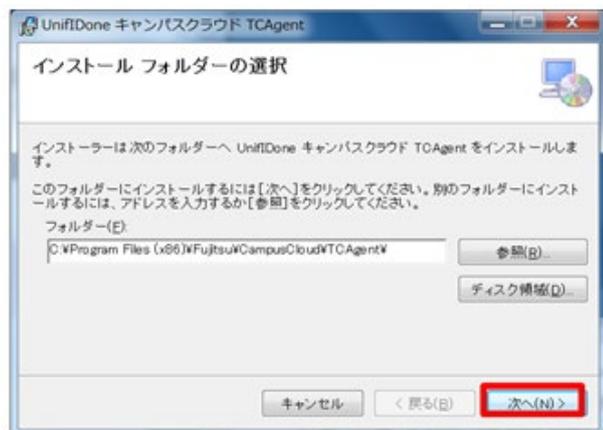
- ⑥ 『コンテンツ』ページに移動するので [Windows 用キャンパスクラウドエージェント] という項目をクリックして、インストールファイルをダウンロードする。



- ⑦ ダウンロードしたキャンパスクラウドエージェントをパソコンに保存する。
- ⑧ 画面の右上の  アイコン (ログアウトボタン)をクリックして CLE をログアウトする。
- ⑨ ダウンロードした『キャンパスクラウドエージェント』をダブルクリックしインストールを開始する。
※ なお、インストールは管理者権限のあるユーザで行ってください (管理者権限のユーザでログオンするか、ファイルを起動するときに管理者で実行してください)。
- ⑩ 下図のようなセットアップウィザードが立ち上がるので [次へ] をクリックする。

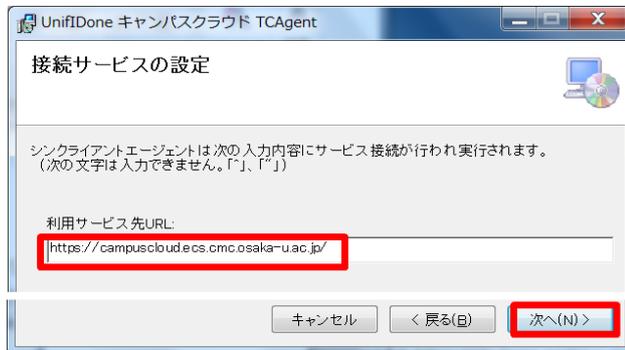


- ⑪ インストールフォルダの選択画面が表示されるので、[次へ] をクリックする。

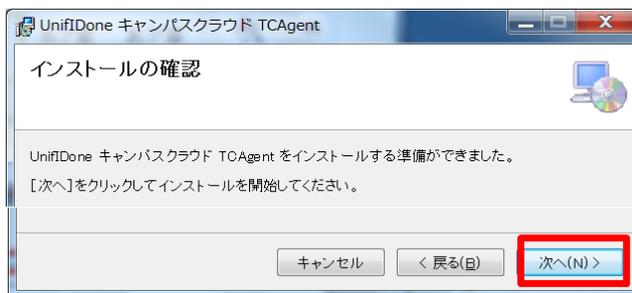


- ⑫ 『接続サービスの設定』の画面が表示されるので、「利用サービス先 URL」に、
<https://campuscloud.ecs.cmc.osaka-u.ac.jp/> を入力し、[次へ] をクリックする。

【注意】 URL を間違えるとアクセスできませんので上記 URL を [コピー] & [貼り付け] することを推奨します



- ⑬ 『インストールの確認』画面が表示されるので [次へ] をクリックします。



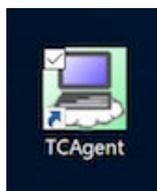
- ⑭ インストールが完了したら画面を閉じます。

デスクトップに『TCAgent』のアイコン  が作成されます。



3. キャンパスクラウド TCAgent で仮想デスクトップに接続する

- ① デスクトップに配置された『TCAgent』のアイコンをダブルクリックする。

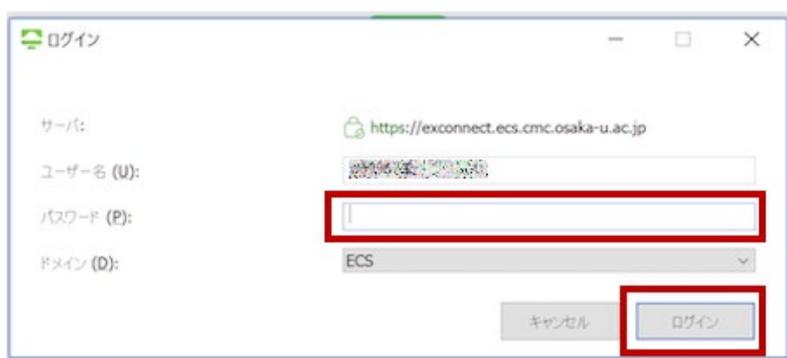


- ② 「大阪大学 情報教育システム」のログイン画面が表示されるので、大阪大学個人 ID とパスワードを入力する。

【注意】以下の画面が表示されない場合は、2-(12)で入力した URL が間違っている可能性があります。
その場合は、TCAgent をアンインストールし、再インストールをしてください。



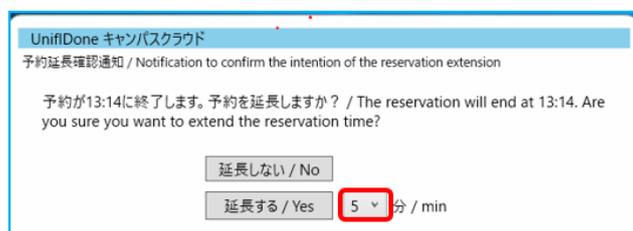
- ③ 「Vmware Horizon」の画面が立ち上がるので大阪大学個人 ID のパスワードを入力する。



- ④ 情報教育端末の仮想デスクトップがパソコンに表示されれば接続完了です。

【補足説明 1】 予約時間について

キャンパスクラウドエージェントでの自動予約では、仮想デスクトップの予約時間は **1 時間 30 分** に固定されています。利用開始から 1 時間 30 分後に以下のような「予約延長確認通知」の画面が出力され、何もしないと利用が終了します。



予約を延長する場合は、画面の「延長する/Yes」の横の延長する時間を選択し、「延長する/Yes」をクリックすると延長して利用することが可能です。(予約延長した後に「延長申請中にエラーが発生しました。」のエラーが出力されますが、システム内のエラーですので無視してください。)

【補足説明 2】 ネットワークへの接続

情報教育第 1～第 5 教室には、BYOD 用の無線 LAN が用意されています。利用方法については [こちら](#) をご覧ください。情報教育教室以外で利用される場合は、自宅のネットワーク、ODINS 無線 LAN 等に接続してください。ODINS 無線 LAN の使い方については、[こちら](#) をご覧ください。